

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●アーモンドアイが秋華賞を勝利して牝馬三冠を達成

10月14日(日)に行われた秋華賞(G I)ではアーモンドアイ(牝3歳/美浦・国枝栄厩舎)が優勝し、桜花賞(G I)、優駿牝馬(オークス・G I)と合わせた“牝馬三冠”を達成しました。牝馬三冠達成は2012年のジェンティルドンナ以来6年ぶり、史上5頭目のこと。また国枝調教師は2010年のアパパネに続き2度目の牝馬三冠達成となります。

●ルメール騎手とデムーロ騎手がJRA通算900勝を達成

10月13日(土)の4回東京4日・第11レースとして行われたアイランドT府中牝馬S(G II)ではディアドラが1着となり、同馬に騎乗したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は、JRA通算900勝(4743戦目)を達成しました。翌14日(日)の4回京都5日・第10レースとして行われた三年坂特別ではサンラモンバレーが1着となり、同馬に騎乗したミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)もJRA通算900勝(4948戦目)を達成しました。ルメール騎手が史上42人目・現役20人目、デムーロ騎手が史上43人目・現役21人目の900勝達成となります。

●北沢伸也騎手のJRA障害通算勝利数が単独10位に

10月14日(日)の4回東京5日・第9レースとして行われた東京ハイジャンプ(J・G II)ではサーストンコラルドが1着となり、同馬に騎乗した北沢伸也騎手(栗東・フリー)のJRA障害通算勝利数が131勝となりました。これはJRA史上単独第10位の記録となります。

●ゼーヴィントとジェニアルの競走馬登録抹消

2017年七夕賞(G III)などの勝ち馬ゼーヴィント(牡5歳/美浦・木村哲也厩舎)は、10月10日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算13戦4勝で、今後は福島県天栄村のノーザンファーム天栄で乗馬となる予定です。2018年メシドール賞(仏G 3)の勝ち馬ジェニアル(牡4歳/栗東・松永幹夫厩舎)は、10月11日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算7戦2勝・海外3戦1勝で、今後はフランスへ移籍する予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●プリンシアコメータがレディスプレリウド(大井)で重賞2勝目

レディスプレリウド(Jpn II、10月11日、大井、1800m)は、3番手から直線入口で先頭に立った2番人気のプリンシアコメータ(ジョアン・モレイラ騎手=ブラジル、牝5歳、父スパイクユール)が、ブランシェクル(大井)の追撃をアタマ差振り切りました。出遅れて最後方から追いつけた3番人気のアンジュデジールは4着、ワンミリオンズは5着、単勝1.7倍で断然人気のクイーンマンボは見せ場なく7着、リエノテソーロは9着に敗れています。

●エーデルワイス賞(門別)は地元北海道のアークヴィグラス

エーデルワイス賞(Jpn III、2歳牝馬、10月16日、門別、1200m)は、4~5番手から直線に入って間もなく抜け出した4番人気の北海道所属馬アークヴィグラス(石川俊騎手、父サウスヴィグラス)が、1番人気のデンバーテソーロの追撃をクビ差振り切りました。2番人気のケイゴールドは10着、出遅れたヒストリコは14着、カシノティータは16着でした。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド川崎の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド川崎は10月16日に実施され、第1戦は木幡巧也騎手(美浦)、第2戦は櫻井光輔騎手(川崎)が制しました。

●フローラルC(門別)はスズカユース【各地の主要2歳重賞】

フローラルC(9月26日、門別、1600m、牝馬)は、5番手前後から差を詰めた2番人気のスズカユース(父スズカコースウェイ)が、ゴール寸前で差し切り勝ちを収めています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●芝世界最高賞金のジ・エベレスト~レッドゼルが連覇

芝レースとしては世界最高賞金を誇る(総賞金1300万豪ドル=約11億4400万円、1着賞金600万豪ドル=約5億2800万円/1豪ドル88円で換算)ジ・エベレスト(3歳上、芝1200m)が10月13日にオーストラリア・シドニーのランドウィック競馬場で行われ、単勝8.5倍の3番人気レッドゼル(騾6歳、父スニツェル)が不良馬場を逃げ切って優勝。連覇を果たしました。勝利騎手はK. マカヴォイ、同調教師はP. & P. スノーデンです。レッドゼルは昨季の豪最優秀スプリンター。今季は初戦となった9月1日のG3コンコルドS(芝1000m)を制しましたが、筋肉を痛めて9月15日のG2ザショーツを回避。9月29日の前走G2プレミアSは逃げて5着に終わっていました。

●G1デューハーストS~トゥーダーンホットが快勝

10月13日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1デューハーストS(2歳牡牝、芝7f)は単勝2倍の1番人気に推されたトゥーダーンホット(牡2歳、父ドバウイ、J. ゴスデン厩舎)が中団から差して、G1愛フェニックスSの勝ち馬アドヴァタイズに2馬身差をつけて優勝。これでデビューから4連勝としました。トゥーダーンホットの母は2010年のG1ドバイシーマクラシックでブエナビスタを2着に下して優勝したダーレミです。